

『滝川地区大会奨励賞』『札幌地方大会奨励賞・滝川地区大会支局長賞』を受賞!

札幌法務局滝川支局管内において、12校364編の応募作品の中から赤平中学校の小出美憂さんと、赤平中央中学校の合田隼人さんの作品が入賞し、それぞれ大会奨励賞を受賞されましたので、その作品をご紹介します。

【滝川地区大会奨励賞】受賞

私たちと人権

赤平中央中3年 合田 隼人さん



私は社会の授業で、人権について習いました。人権は、私たちが人として生きていくためには、重要な権利です。

今から、私の周りで起こった人権についての問題のお話をします。私が、家族で祖母の家に泊まりに行った時のことです。私の親戚の子どもも泊まりに来ていました。その子と話していると、今月中一回しか学校に行っていないといった内容の話がされました。正直おどろきました。まさか自分の親戚でこんな状態になっていたとは思わなかったからです。その日の夜、その子の話を聞きました。なんでも、クラスの友達か

ら仲間はずれを受けているということでした。私の他にも、もう一人の親戚の子どもがいたんですが、その子と一緒にどうしようかとすごく考えました。しかし、簡単に答えが出るはずもなく、その日一日使つて考えていました。

次の日、私は用事のため、一度も一方の祖母の家に行きました。そこで今の話をすると、「昔ならそんなことがあれば、一番上の子をみんなで引きずりおろしたもんだ」と言っていました。そこで私には、一つの疑問が生まれました。この問題について、先にはどのような考えを持つて戦うべきか、逃げて別の場所です生活するかという考えです。この疑問について、戻ってきた時に聞くと、「戦うなら、色々なものを失うことになる。しかし、逃げれば、そいつは他の子も、仲間はずれにするだろう。」とのことでした。結果として、私たちは、生まれたときは平等です。

それが、たった十数年で強弱がつくとは思えません。今こそ、こういった問題について、一人一人が考えていくことが必要だと思いました。私たちは、「人として生きる権利」を持っています。逃げることも必要です。しかし、戦うことも必要だということを忘れないでください。人であつて猿に

ないものをみなさん考えたことがあるでしょうか、それは「言葉」だと私は思います。言葉を使うことで、人は会話し、自分の意見を言うことができます。

最後に、私たちは「人間」です。たまにはぶつかることもあるでしょう。しかし、私たちは、会話や人権があります。自分を表現して、ぜひ色々な人と交流してみてください。

【札幌地方大会奨励賞及び滝川地区大会支局長賞】受賞

私と初恋

赤平中3年 小出 美憂さん



私はこの夏、宝性寺というお寺の夏期一泊研修会に参加しました。今回の研修テーマは「手をあわす心」でした。私は、手をあわす心でどんな心だろうと考えました。ごはんを食べるときの感謝の気持ちなのかなと私は思いました。私が普段手をあわせると思ったらそれくらいで、それしか思いつきませんでした。

医療保険係からお知らせ

☎32-2214

自己負担を軽減!?

高額介護合算療養費

高額介護合算療養費とは…

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です!

同じ世帯の被保険者が、「病院にかかったとき」と「介護サービスを利用したとき」の1年分の自己負担額の合計が下記の表の基準額(限度額)を超えた場合は、超えた額が高額介護合算療養費として、医療保険及び介護保険から支給されます。

※詳細については担当係へお問合せください。

所得区分	後期高齢者医療 +介護保険	国民健康保険 +介護保険(世帯内の70歳~74歳未満)	国民健康保険 +介護保険(70歳未満を含む世帯)	
現役並み所得者 (上位所得者)	67万円	67万円	126万円	○医療保険または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。 ○後期高齢者医療の場合、支給額が500円未満の場合は支給されません。 【申請手続き】 平成23年度分(平成23年8月1日から平成24年7月31日まで)の期間について支給対象となる方には、申請のご案内をします。
一般	56万円	56万円	67万円	
住民税非課税世帯	区分Ⅱ	31万円	31万円	
	区分Ⅰ	19万円	19万円	

平成24年度全国中学生人権作文コンテスト滝川地区大会

最初に私たちは老人介護施設「のぞみの家」へ掃除のお手伝いに行きました。私は、私より小さな子たちと掃除をしました。何度も同じところを掃除したりするので注意しながらやっていると、だんだん疲れてきました。そのとき、ある一人のおばあさんが声をかけてきました。そのおばあさんは、よぼよぼの足で立ち手をあわせながら、「私たちのためにどうもありがとうございます。ありがとう。」と言ってくれました。私は、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。それまでであった疲れも吹き飛んでいく感じがしました。そして、自然と笑顔になりました。これが、心の底から感謝してもらうことなのかなと思いました。その後、お寺に戻りあるビデオをみました。それは、中村久子さんという女性の本当にあった物語でした。その方は、三歳で突発性脱疽という病にかかり、四肢を切断したのです。三歳という幼さで手も足も切る決断をするというのは、久子さんも久子さんの両親もとてもつらかったと思います。その後、久子さんは九歳で目の光も失います。しかし、久子さんのお母さんはあきらめず看病し、再び久子さんの目は光を取り戻したのです。それだけではなく久子さんのお母さんは、久子さんにはさみ

とはぎれをわたしました。久子さんはお母さんのことをうらんだと思います。なぜなら久子さんは手も足も無いからです。どうやって縫い物ができるといふのでしょか。私も縫い物をするだなんてとても酷でひどいと思いました。でも、久子さんはしかれることが嫌で、口で縫い物をすることを覚えたといいます。私はその時お母さんの愛情を感じました。そして、それまでの考えを改めました。きつと、久子さんのお母さんは自分がいなくなっても久子さんが人並みの生活ができるようにしたかったのだと思います。久子さんはそれから、過酷な人生を送ったといえます。次に、私たちは住職さんにお話をいただきました。それは、今回のテーマ「手をあわす心」についてでした。「手をあわす心」とは思いやりがあるということ。思いやりがあるということとは人に対して優しいということ。私は、ふとおばあさんのことを思い出しました。きつとおばあさんは、掃除をしてもうことを当たり前と思わず、私たちにも思いやりと優しさをもって接してくれたんだなと思いました。

そして住職さんは私たちに聞きました。「きつと見た中村久子さんが人生で一番悲しかったことはなんだと思う？」私たちは言いしました。「手と足がないこと」「お母さんが死んじゃったこと」「いいや。久子さんが一番悲しかったのは、両手をあわすことができなかったことだよ。」私はびっくりしました。手をあわすことが一番悲しいことだなんて、正直理解できませんでした。でも、私たちにとっては普通なことでも、久子さんにとっては一生かかってもできないことだったので、なんだか悲しくなりました。そんなにも、優しい心がある人なので、すこくたいへんな人生なので、世の中ですこく理不尽だなど思いました。世界の人がみんな久子さんのような手をあわす心があれば世界はもっと平和で人々が暮らしやすくなるのにと感じました。住職さんは「仏々相念」という言葉も説明してくれました。「仏々相念」とは「お互いに認め合い敬つていく心」という意味だそうです。私はその言葉がとても心に響きました。その言葉は今の世の中にとっても必要だと思えます。その心があれば、差別もいじめもなくなるからです。私はこの研修で大切な心を学びました。手をあわす心、仏々相念。私は、これからこの言葉を忘れず、なるべく多くの人に伝えていきたいです。

赤平市市税等収納向上対策本部

市有財産貸付料の納付は忘れずに！

市では、土地や建物の財産を賃貸借契約を締結し貸付けしています。

土地貸付料及び建物貸付料は、お手元に送付した納付書により、納期限までに必ず納付しましょう。

なお、著しく不誠実な滞納者と判断した場合に、賃貸借契約の解除や行政サービスの制限等を実施する場合がありますので、ご注意ください。

特別な事情により貸付料の納付が困難な場合は、分割納付等もできますので、必ずご相談ください。

また、借受人または連帯保証人の氏名や住所等に変更があったときや、貸付財産を市に返還しようとするときは、すみやかに届け出をしてください。

■問合せ 契約管財係 ☎32-2211

▶ 納税相談窓口について

平日、午前8時30分から午後5時までの間、随時担当係で納税(付)相談を行っていますので、ご利用ください。

▶ 市税・使用料等の納付は、便利・確実・安心な口座振替を！

お仕事など日中忙しく不在な方や、うっかり忘れがちな方に、納期ごとに市役所や金融機関へ行く手間がはぶけ、納め忘れの心配のない便利で安心な口座振替をおすすめします。

口座振替の手続きは、通帳とお届けの印鑑をもって市役所各収納担当窓口か市内金融機関の窓口で簡単にできますので、是非ご利用ください。

【今月の納税】

- ◆市道民税
- ◆国民健康保険税
- ◆後期高齢者医療保険料

第4期
第7期
第7期

納期
1月31日(木)まで

納期を守ろう！！

■事務局■
税務課納税係

☎32-2219